

平成28年度

事業計画書

一般財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団

平成28年度事業方針

札幌市では、「2017 冬季アジア札幌大会」をはじめ、「日本スポーツマスターズ 2018」、「ラグビーワールドカップ 2019」などの大規模スポーツイベントの開催とともに、「2026 年冬季オリンピック・パラリンピック」の招致活動が本格化していきます。さらに、スポーツを通じて、国際都市札幌の魅力を発信するために「さっぽろグローバルスポーツコミッション」が設立されるなど、スポーツ活動やスポーツ環境の整備に係る機運が高まっているところです。

一方で、2015 年 10 月の国勢調査で日本の総人口が初めて減少に転じ、超高齢化・人口減少社会の急速な進展が現実のものとなり、健康意識の高まりや余暇活動の変移などによる市民ニーズの多様化がより一層極まると予測されます。

このため、平成 28 年度は、当財団が有する施設の管理運営及び各種事業の企画・実施に関するノウハウを最大限に発揮し、市民の様々なニーズに対応した信頼性の高い魅力的なサービスの提供と施設環境の整備をさらに推進します。

併せて、札幌市の重点施策である「2017 冬季アジア札幌大会」や「さっぽろグローバルスポーツコミッション」にも積極的に協力・参画し、当財団の 4 つの事業領域の「スポーツの普及振興」、「健康づくり活動の支援」、「国際交流の推進」、「地域コミュニティの活性化」のさらなる拡充を図ります。

事業計画

1 指定管理施設の運営事業

札幌市から指定管理者の指定を受けている施設の管理運営を行い、各施設の設置目的を達成するため、「スポーツの普及振興」、「健康づくり活動の支援」、「スポーツ・文化活動を通じた国際交流事業」を推進する。

(1) 札幌市体育・スポーツ施設

ア 札幌市体育館グループ

No.	施設名・施設概要
1	北区体育館 競技室、体育室、格技室、第2格技室（ボクシング室）、トレーニング室、トレーニングデッキ、多目的室
2	東区体育館 競技室、体育室、格技室、トレーニング室、トレーニングデッキ、多目的室
3	白石区体育館 競技室、体育室、小体育室、格技室、トレーニング室、トレーニングデッキ、ランニングコース、多目的室
4	厚別区体育館 競技室、体育室、格技室、トレーニング室、トレーニングデッキ、ランニングコース、多目的室
5	豊平区体育館 競技室、体育室、格技室、トレーニング室、トレーニングデッキ、ランニングコース、多目的室、野球場
6	清田区体育館・温水プール 競技室、体育室、第2体育室、格技室、トレーニング室、トレーニングデッキ、ランニングコース、多目的室、25mプール、子供用プール
7	南区体育館 競技室、体育室、小体育室、格技室、トレーニング室、トレーニングデッキ、ランニングコース、多目的室
8	西区体育館・温水プール 競技室、体育室、格技室、トレーニング室、トレーニングデッキ、ランニングコース、多目的室、弓道場、重量挙室、25mプール、子供用プール、（ウォータースライダー）
9	手稲区体育館 競技室、体育室、格技室、トレーニング室、トレーニングデッキ、多目的室
10	中央体育館 競技室、体育室、剣道室、柔道室、弓道室、相撲室、ボクシング室、アーチェリー、多目的室

11	中島体育センター 体育室、小体育室、格技室、トレーニング室、講堂、多目的室
12	白旗山競技場 距離スキーコース 25 km、芝グラウンド、ローラースキーコース 630m
13	宮の沢屋内競技場 競技室、エアライフル射撃場、多目的室

イ 札幌市温水プールグループ

No.	施設名・施設概要
1	東温水プール 25mプール、子供用プール、(ウォーターライダー)
2	白石温水プール 25mプール、子供用プール、多目的室
3	厚別温水プール 25mプール、子供用プール、多目的プール
4	豊平公園温水プール 25mプール、子供用プール
5	手稲曙温水プール 25mプール、子供用プール
6	平岸プール 50mプール、25mプール

ウ 札幌市美香保体育館

No.	施設名・施設概要
1	美香保体育館 スケートリンク、体育館、野球場、多目的室

エ 札幌市スケート施設グループ

No.	施設名・施設概要
1	月寒体育館 スケートリンク、卓球場、多目的室
2	月寒屋外競技場 ラグビー場、弓道場、庭球場
3	星置スケート場 スケートリンク
4	カーリング場 カーリングホール、多目的ホール、多目的室

オ 札幌市屋外競技場施設グループ

No.	施設名・施設概要
1	円山総合運動場 野球場、陸上競技場、補助競技場、庭球場、多目的室
2	麻生球場 野球場、庭球場、多目的室
3	厚別公園 陸上競技場、補助競技場、トレーニング室、多目的室

カ 札幌市スポーツ交流施設

No.	施設名・施設概要
1	屋内アリーナ、トレーニング室、ランニングコース、イベント広場、パークゴルフ場、庭球場、多目的室、ミーティングルーム、特別室、レストラン

キ 札幌市藤野野外スポーツ交流施設

No.	施設名・施設概要
1	フィールド（ゲレンデ、リフト）、リ्यूージュ競技場、コアハウス

(2) 札幌市健康づくりセンター

No.	施設名・施設概要
1	中央健康づくりセンター 健康度測定フロア、トレーニングジム、運動スタジオ、ストレッチルーム、研修室
2	西健康づくりセンター トレーニングジム、運動スタジオ、体力測定室、ウォーキングデッキ、ストレッチルーム
3	東健康づくりセンター 運動フロア、ストレッチルーム

(3) 札幌国際交流館

No.	施設名・施設概要
1	体育室、25mプール、トレーニングコーナー、ランニングコース、交流サロン、ライラックホール

2 学校施設の開放事業／受託事業

札幌市内の学校施設を開放し、市民のスポーツ・文化活動を支援する。

(1) センター管理校

体育館開放（173校）、グラウンド開放（39校）、プール開放（200校）、格技室開放（16校）、文化活動練習会場学校開放（16校）

(2) 自主管理校

体育館開放 (111 校)、グラウンド開放 (35 校)、テニス開放 (1 校)

3 地域スポーツ普及振興事業

(1) スポーツ教室事業 (5,700 事業 90,000 人)

体育・スポーツ施設において、技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、競技団体から推薦された指導員やインストラクター、当財団指導員により教室事業を開催する。継続的な運動の機会を提供する一般事業のほか、財団独自の取り組みによる高等教育機関・専門機関と連携した専門性の高いプログラム開発や、地域のニーズに応じて短期、通年型、少人数制、文化活動など幅広い指導を実施する。

また、これらには、札幌市内近郊の自然環境を活かしたアウトドアの教室(40 事業 600 人)、学校体育施設を利用した教室(10 事業 150 人)、ウィンタースポーツ活性化のための教室(200 事業 7,800 人)を含む。

(2) スポーツ大会、スポーツイベント事業 (120 事業 27,300 人)

体育・スポーツ施設において、「体育の日無料開放」や「さっぽろスポーツ DAY*」の無料開放をはじめ、地域のスポーツ活動の支援となる大会、イベント事業を開催する。

また、これらには、参加者の交流と継続意欲を高めることを目的に、スポーツ教室受講生を対象とした大会や、供用時間外に行う朝野球大会、スポーツナイトリーグなど、複数の管理施設合同の事業(20 事業 2,900 人)、ウィンターレクリエーション活性化のための大会、イベント(10 事業 1,000 人)を含む。

*さっぽろスポーツ DAY は市民の皆さまが健康とスポーツへの関心を深め、スポーツや健康づくりのきっかけとなるよう、当財団 30 周年を契機に管理施設において、毎年 5 月 5 日に「スポーツ・健康づくりの日」として一斉実施する。

(3) スポーツキャラバン事業 (30 事業 3,000 人)

町内会、PTA や企業等が行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に指導者の派遣、スポーツ用具の貸し出し等を行う。

(4) 歩くスキー常設コース事業 (指定管理事業 白旗山 2,500 人／受託事業 中島公園 5,900 人)

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園でスキー用具の無料貸し出しを行う。

(5) ウオーキングステーション事業 (12 コース 900 人)

管理施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟 (IWV) のイヤールウンドコースを設置し、距離の認定を行う。

4 健康・体力づくり相談事業

(1) 健診事業

生活習慣病予防のための健康診断等、各種検査を実施する。

- ・女性のフレッシュ健診／指定管理事業 (45 回 1,100 人)
- ・健康度測定・体力測定／指定管理事業 (1,350 人)
- ・特定健康診査、大腸がん検診及び緊急肝炎ウィルス検査／受託事業
- ・健康度測定受診者対象のオプション検査等

(2) 健康増進事業

健康づくりセンターにおいて、医師、保健師、管理栄養士などによる生活習慣病予防のための教室や各種相談、指導事業を実施する。また、白石区体育館・南区体育館・清田区体育館温水プールにおいて健康体力測定等を実施する他、新たに北区体育館、白石温水プール、東温水プールにおいて健康サポート教室等を実施する。

- ・健康・栄養相談／指定管理事業
- ・国保特定保健指導業務／受託事業
- ・健康づくり支援教室、健康講座等（20事業 190人）
- ・健康体力測定（11事業 200人）

(3) 運動指導事業

健康づくりセンター、白石・南・清田区体育館温水プールにおいて、健康運動指導士、理学療法士などによる健康サポート教室や運動指導を実施する。

- ・自由参加プログラム／指定管理事業（34事業 56,000人）
- ・健康サポート教室等（367事業 10,100人）
- ・高齢者運動機能向上事業、国保運動お試し券事業／受託事業
- ・地域団体等への運動指導員の派遣（70事業 2,400人）

(4) 研修事業

- ・地域の健康づくりを担う人材育成研修／指定管理事業（1事業 60人）
- ・運動指導従事者等を対象とした研修（1事業 30人）

5 国際交流推進事業

(1) 国際交流事業／指定管理事業（25事業 4,200人）

札幌国際交流館において、世界ふれあいひろばや留学生のスポーツ交流会等、JICA や公益財団法人札幌国際プラザと共催で、市民と外国人がスポーツ・文化活動などを通じて相互理解及び親善を深め、国際交流を推進する事業を実施する。

(2) スポーツ教室事業等（220事業 3,400人）

技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、競技団体から推薦された指導員やインストラクター、当財団指導員により教室事業を開催し、継続的な運動の機会を提供する。

6 地域コミュニティ活性化事業（80事業 62,200人）

区役所、商店街組合、町内会等と連携して、地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、施設近隣の住民を対象とした水上安全無料講習会などの啓発事業を実施する。

7 情報提供及び調査研究事業

- (1) 各種媒体の活用により、健康・スポーツ及び国際交流に関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進する。
- (2) 健康・スポーツ及び国際交流情報を広く提供するため、「ヘルス&スポーツライフ」(Health&Sports Life: 年4回、各10,000部)を発行する。また、財団ホームページにおいて多言語対応機能及び色合いの変更機能を追加するなど、機能改善を進める。

- (3) 健康・スポーツに関する調査研究を行い、医科学的根拠を持った情報・プログラムを市民、関係機関へ発信する。

8 スポーツ大会・イベントの開催

(1) 第39回北海道を歩こう

札幌市立真駒内中学校をスタートし、真駒内カントリークラブまでの10kmを歩く春の北海道を満喫するウォーキングイベント。

※2014年9月に発生した記録的集中豪雨による路肩等損壊の復旧工事が進んでおらず、現在も一部歩道が通行できないことから、平成27年度に引き続き支笏湖ポロピナイまでの33km種目は中止とし、今年度も10kmのみで開催する。また、ゴール会場の広さ等を考慮し、先着定員制での申込みとする。

開催日：5月29日(日)

会場：真駒内中学校～真駒内カントリークラブ

種目：10km

参加人数：1,000人(先着・定員)

(2) 6時間リレーマラソン2016in札幌ドーム

1周2kmの札幌ドーム特設コースをチームでたすきをつなぎながら走るリレーマラソン。

開催日：7月3日(日)

会場：札幌ドーム

種目：6時間リレーマラソン、42.195kmリレーマラソン

参加者数：9,800人

(3) 第41回札幌マラソン大会

ハーフマラソン及び10kmは日本陸連公認コース。

開催日：10月2日(日)

会場：真駒内セキスイハイムスタジアム他

種目：ハーフマラソン、10km、5km、中学生、小学生、ファンペア、車イス

参加者数：15,000人

(4) 第37回札幌国際スキーマラソン大会

国内唯一、世界的にクロスカントリースキーの普及を図る連合体「ワールドロペット」に加盟する大会。毎年、海外からも多くの参加がある。

開催日：2月5日(日)

会場：札幌ドーム、旧西岡オリンピック記念競技場を含む周辺コース

種目：スキーマラソン50km・25km、歩くスキー11km・5km・3km

参加者数：2,000人

(5) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

- ・第20回北の都札幌ツーデーウオーク(6月25日・26日)
- ・2016札幌30K(7月9日)
- ・2016北海道マラソン(8月28日)
- ・サッポロヘルス&ビューティフェア2016(10月下旬)

- ・2017 冬季アジア札幌大会（2月19日～26日／月寒体育館、美香保体育館、星置スケート場、カーリング場、白旗山競技場）
- ・ウィンタースポーツフェスタ in 大倉山（2月上旬）
- ・大通公園ウィンタースポーツフェスティバル（2月下旬） 他

9 物品販売・貸付及び飲食店業

施設利用者に対する利便向上を目的に、売店・レストランや自動販売機を設置するとともに、コインロッカー・スポーツ用品の貸し出しを行う。

10 その他事業

（1）関係団体との連携・協力事業

- ・「スポーツ・フォー・トゥモロー」コンソーシアム会員への登録

2020年東京オリ・パラ招致活動の過程において、2014年から2020年までスポーツ分野における日本政府の国際貢献策として打ち出した国際公約のひとつであり、日本政府が推進するスポーツを通じ、世界のより良い未来を目指し、スポーツ価値を伝え、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントをあらゆる世代の人々に広げていく取組みの一環として札幌国際スキーマラソン大会等を認定事業として登録をし、同施策の拡大・促進に協力する。

- ・「さっぽろグローバルスポーツコミッション」への参画

平成28年3月に設立された「さっぽろグローバルスポーツコミッション」の運営に参画し、北海道・札幌の豊富なスポーツ資源を最大限活用することにより、国際大会や事前合宿、スポーツイベントの誘致活動を通じて、国内外へ国際都市札幌の魅力を発信するとともに、インバウンド振興など交流人口の拡大を図る。

- ・北海道歩くスキー協議会の運営

北海道内の歩くスキー、クロスカンントリー15大会が加盟している同協議会の事務局を担い、大会相互の連携と発展を図る。

- ・スポーツボランティアの育成支援

スポーツイベントの活性化を図るため、NPO法人日本スポーツボランティアネットワークに加盟し、スポーツボランティアを育成して活動を支援する。

- ・「事業連携包括協定」の締結

北翔大学との間で、学生が札幌マラソン等の運営等に携わる「事業連携包括協定」を締結し、スポーツイベントの活性化を促す。

- ・スポーツ・運動指導者及び施設運営管理者の育成

（公財）日本体育施設協会及び順天堂大学等との連携により、スポーツ・運動指導者及び健康・スポーツ施設の運営管理者を育成する。

- ・プロスポーツへの貢献事業

北海道コンサドーレ札幌をはじめとする地域密着型のプロスポーツチームを支援するとともに、協働イベントの開催を通じて地域スポーツの振興と市民との触れ合いの場の創出を図る。

・職員の派遣、役員就任等

一般財団法人札幌市体育協会へ職員を派遣し、団体の活動を支援するとともに、関連団体が主催する健康・スポーツ事業への役員就任や後援等を行い、スポーツの普及振興と健康づくり活動を支援する。また、第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会への職員派遣を行い、市民と選手の交流をはじめ、ウィンタースポーツの振興を行う。

(2) 社会貢献及び環境保全事業

・環境保全活動

札幌市や地域の関係団体と連携した河川敷清掃、植栽等の環境美化活動の実施、ペットボトルキャップの回収による世界の貧困に苦しむ子供たちへの支援活動の実施等、環境保全活動を積極的に行う。また、次世代を担う子どもたちに環境問題の現状と対策を伝えていくため、環境教育へのクリック募金に協力する。

・地域防犯活動

登下校時のスクールガードや、子どもを見守るパトロール等、公的機関及び町内会等と連携し、地域における防犯活動を推進する。また、さっぽろ救急サポーターとして、事故発生時には応急手当等の迅速な対応を行い、救命率の向上に協力する。

・地域への安全なスポーツ環境の提供

施設を利用するサークル団体や地域住民などからの要請に応じ、AEDの無料貸出しを行うとともに、救急救命講習会及び水上安全法講習会などの開催を通じて、地域の安全・安心なスポーツ活動の実施に協力する。

・インターンシップ等の推進

インターンシップや職場体験学習を積極的に受け入れ、学生や産業界等の活動を支援する。

・障がい者就労施設等への協力

障がい者就労施設等から物品購入、印刷発注等、地域の福祉施策へ積極的に協力する。

・献血への協力

全従業員へ呼びかけ、北海道血液センターでの献血に協力する。

・サッポロスマイルパートナーズへの会員登録

「魅力都市さっぽろ」を広く発信し、「笑顔になれる街」の実現に向けて、札幌市とともにシティプロモートを行う活動に参画する。

・さぼーとほっと基金への寄附

札幌市が寄附を募り、町内会・ボランティア団体・NPOなどが行うまちづくり活動に助成することで、札幌のまちづくり活動を支える制度に賛同し、各施設に設置している自動販売機の売上げの一部を同基金へ寄附する。

・募金活動

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金及び東日本大震災復興支援募金などに協力する。

(収支見込)

収入予定	4, 3 1 1, 1 6 7, 0 0 0 円
所要経費	4, 2 3 1, 8 4 6, 0 0 0 円